

軽快なデモ投票訴え

プロローグ

トリアンの荷台に陣取り、宮市中心部の繁華街。安全確保関連法廃止と投票率向上を訴える「サントデモ」わけて声を張り上げた。ヒップホップ調の掛け声。「アイ・セイ・クソボウ(憲法)」「ユイ・セイ・ウ」未来は僕らの手の中に

新有権者の素顔

れる。「若者が政治に無関係じゃ意味がない」

海外でも広く取り入れられている「18歳選挙権」。日本の若者は投票するよう

なるのか。2014年の衆院選でも20代の投票率は

「投票する」と何がわかるのか、と宇都宮工業高2

年の池田健人さん(17)。選挙

伴う責任、戸惑う声も

「選挙に行く」と選挙権年齢が引き下げる

福島第一原発事故後、放射能被害をめぐり、周囲で

「SEALDs」のデモに足を運び、声を上げることを

を知った。

選挙権年齢が引き下げる



トリアンの荷台で軽快なデモに合わせ、選挙での投票を呼び掛ける七田千紗さん(17)と「サントデモ」宇都宮市内

下野新聞、

2016.2.2(火)

票は責任を伴う行為」。自ら

らの投票が物事を委として、全日制に入りたかった

「新有権者」になる県内で学費を賄い、夜学ぶ。

「未来を委える手段が選挙なんだ」。それを教えてくれた日々があった。

改正公職選挙法が6月に施行され、選挙権年齢が18

の姿をつかみきれず、1票の重みを測りかねている。

「良い社会にする責任は私たち一人一人にある」

宇都宮商業高定時制4年

意義について考える。(4面に関連記事)

さん(16)は考える。改正公職選挙法が6月に施行され、選挙権年齢が18

の重みをつかみきれず、1票の重みを測りかねている。

「良い社会にする責任は私たち一人一人にある」

宇都宮商業高定時制4年

意義について考える。(4面に関連記事)